



エコネット通信

VOL.27



森を 川を この里の自然を 子ども達へつなげたい！

ホームページ : <http://tono-econet.org/> フェイスブックでも情報発信中！

子ども達の歓声が森に響き渡る！

森フェス2022 in 遠野 盛大に開催

間伐材のステージや遊具づくり

「森フェス2022 in 遠野」を、7月30日

(土)31日(日)の2日間、薪の駅近くの森で開催し、のべ194名の親子が参加し、スタッフ関係者も合わせると、2日間で300名以上が遠野の森に集っていただきました。

開催に向け7月にはメイン会場に、以前間伐していたヒノキの丸太を使ってステージづくりを。また、ステージの半屋根を、会員のSさんが、間伐材の棒と紐を組み合わせ作成しました。また、トトロ広場という子ども達が遊ぶエリアには、木にロープをかけたブランコや、木から木にロープを張って滑り降りるターザンロープ、丸太のシーソーも作り、子ども達が楽しんで遊べる工夫を。また協力団体であるNPO法人遠野森人クラブさんに、駐車場の整備をしていただきました。



遠野の森の音楽隊の素敵なステージ演奏。



大人気だったツリークライミング体験。



森の中で思い思いに楽しむ参加者たち。

初日はチェーンソーアートで開始

初日の30日は、9時から山里暮らしネットワークの桑畑さんによるチェーンソーアートの実演でスタート。その後、ステージでは大槌町でシカ対策と資源化を進める大槌ジビエソーシャルプロジェクトの活動発表。上郷町の新田真里子さんを講師とした森ヨガ。更に、遠野市在住のドラママーである菊池泰二さん等が率いる遠野の森の音楽隊によるジブリソングなどの演奏。そしてメインゲストの一人である(懶)飛驒の森でクマは踊る代表取締役の松本剛氏が「森と人のあいだにある可能性」と題し、飛驒での活動写真を映写しながら講演しました。

また、体験エリアでは、遠野美術クラブの「森のモンスターをつくらう」という体験会があり、紙や紐などを使って目や手などを作

り木に貼り、会場の森に楽しいモンスターがいっぱい現れました。この他にも、飾り炭づくり、プチ山仕事、木工、ツリークライミング、はじめてのキャンプ体験などが行われました。また、マルシェでは、木工やオーガニック農産物、ジビエ料理、皮小物・アクセサリーやコーヒー、ピザなども販売されました。

2日目も快晴に恵まれ

2日目の31日は、地元松崎町の薬研太鼓の勇壮な太鼓の音でスタート。その後ステージでは、前日に講演いただいた、松本氏と当会代表の千葉和が、「未来に豊かな森のプレゼント」という題でトークセッションを。その後、遠野市内で活動している人形劇グループ「ちびっこクラブちゅんちゅん」による人形劇。森の音楽祭2として、代表千葉が歌うデクノボーブラザーズが、このフェスに合わせつつ「Go Back to The Forest」などを演奏。そして、このフェスのもう一人のメインゲストである糞土師である伊沢正名氏が「ウンコで考える、人と自然の共生」と題し、美しいキノコの写真などを写しながら講演いただきました。

また、この日は体験会として、岩手県ネイチャーファイリング協会の講師2名による、ネイチャーゲームや、宮守町の花香房 佐藤秀夫さん智江さん夫婦によるツル細工とリースづくり体験も、前日の体験メニューに加えて行われました。

2日間とも快晴に恵まれ、多くの方々にご協力いただき、初の試みであった「森フェス」が無事終わりました。

森のようちえん「どんぐりのぼうし」 6/18(土) 7/16(土)

6月はスタッフ家族も入れると7組の家族が参加。また、スタッフとして、北上市から保育士の方2名も参加いただき開催しました。この日は、朝の会で「どんぐりのぼうし」の歌をみんなで歌った後に森探検に。森遊びの後には、田んぼで田植え体験もしました。

7月は朝から雨模様様の天気。森のようちえんは、基本的に中止はせずに、雨も自然の大切な現象として開催します。この日の参加者は4家族。4月に畑に種まきしたエンドウ豆を収穫し、豆のさや剥きをして飯ごうで豆ご飯を炊いて食べました。採れたてのお豆の味がとても美味しいご飯で、おかず無しでも子ども達はもりもりと食べていました。この日は、親達にご飯を炊いている間、子ども達は田んぼで、6月に田植えした稲の様子を観察し、草取りや生きもの探しもできました。



6月の森のようちえんで、森の不思議？な宝物を見つけました。



6月のデイキャンプでは、田植えを頑張りました。

森のデイキャンプ「おひさまのねっこ」 6/11(土) 7/9(土)

6月に参加した小学生は11名。午前中はエゾハルゼミの大合唱を聞きながらオッホーの森へでかけ、木登りやターザンなどして遊びました。午後は4月に種まき稲の苗で、田植えを体験しました。

7月の参加者は6名。午前中は森探検を、そして午後には6月に田植えした田んぼの様子を観察し、草取りをしました。また、その後には近くの沢に行き、シャワークライミングの体験もしました。子ども達は、初めての川での遊びに大喜びでした。



7月のデイキャンプは、シャワークライミングに挑戦！

山仕事はじめの一步(入門)講座 6/12(日) 7/10(日)

5月から始まった山仕事講座。6月の参加者は11名で、いよいよ本格的な間伐の実習を行いました。はじめに、薪の駅でチェーンソーの構えを実習。その後、テキストを見ながら、木を安全に伐採する基本的な方法を学んだ後、薪の駅近くの実習林へ移動。参加者は6つのグループに分れて、最初に切り株などを使って、受け口や追い口づくりを練習。そして、いよいよ初めての間伐作業を無事に行いました。

7月の参加者は13名。この日は前回とは別の松崎町内の実習林での講習。午前中は間伐の実習。午後には、間伐作業ではよくある、伐採した木が隣接して立つ木に引っかかってしまう「掛かり木」の安全な処理方法を学びました。この「掛かり木」処理は、間違っただけで行い事故の事例が多いため、しっかりと覚えてもらいたい内容です。これからの講座で、何度も繰り返し行いながら経験を積んでいきます。



7月の山仕事講座で、掛かり木処理を学ぶ受講生。

森業倶楽部 6/26(日) 7/24(日)

6月の森業倶楽部は、宮守町の佐藤秀夫氏を講師にツル細工の材料の採集を行いました。この日の参加者は13名。薪の駅から、当会で昨年からの山の手入れを行っている貞任高原に出かけて行き、ヤマブドウのツルを高枝ノコギリで切り、その場で皮を剥いて束ねて持ち帰りました。その後、薪の駅に戻り小屋の軒下に吊るして乾燥させます。このツルを用いて、10月に籠編みをする予定です。また、この日の午後は、杉の樹皮でコースターづくりと、オニグルミの皮でブローチづくりも体験しました。7月は9名が参加し、上郷町の木暮工房の菊池光典氏を講師に、参加者それぞれが描いた図面を下に、木工の製作が本格的に始まりました。



6月の森業倶楽部でツル細工を指導する佐藤秀夫さん。

活動報告（6月～7月）

川の体験活動指導者養成講座 6/4(土) 7/2(土)

6月と7月の講座も、5月に引き続き、宮城県のくりこま高原自然学校校長の塚原俊也氏を講師に招き行いました。6月の講座は12名が参加し、午前は附馬牛地区センター会議室で安全講習と実際に川に行っておボートの漕ぎ方などを実習。午後には附馬牛町内の猿ヶ石川で、実際にゴムボートやカヌーに分乗し川下りの実習をしました。

7月の講座では11名が参加し、午前は附馬牛地区センター会議室で自然体験活動のプログラムづくりの手法などを講習。午後は薬師岳山麓のオッホーの森に移動し、沢を水しぶきを浴びながら登って行くシャワークライミングの実習を行いました。その後、附馬牛地区センターへ戻り終わりの会として、参加者が講座の感想発表をし、講師の塚原氏に全3回を通じての講評や実際の各自の現場での体験活動へ向けてのアドバイスをいただきました。



7月の川の指導者養成講座でシャワークライミングを体験。

水源の森づくりプロジェクト 7/5(火)

7月は土淵小学校4年生9名と、遠野市の水道施設であるたかむろ水光園の見学。琴畑川から取水した水が、どのように各家の水道水になっているかを、職員の方に説明いただきながら学習しました。その後、琴畑高原に移動し、5月に植樹した苗木の成長を計測。4本ほど枯れた苗木もありましたが、ほぼ順調に育っていました。その後、苗木の周囲を鎌で草刈り作業を行いました。



暑い中、琴畑高原で植樹した苗木の周囲を草刈りする小学生。

焚き火夜会 6/18(土)

夏至の時期に合わせて、焚き火を囲みながら、日頃意識しない太陽への感謝、自然のことなどを語り合おうと昨年からは始めたイベントです。この日の参加者は小学校の子ども連れを含めた10名。会場のオッホーの森では、早めに来た人が、ドラム缶風呂を焚き木を拾って沸かして入りました。暗くなった夕方に、集めておいた焚き木に点火。その後、楽器の演奏やジョンレノンの「イマジジン」を歌ったりしながら、ゆったりとした時間を過ごしました。



焚き火夜会で、焚き火を囲みながら語られました。

炭っこ倶楽部(遠野市少年少女発明クラブ) 6/19(日)

6月の炭っこ倶楽部には、遠野市少年少女発明クラブの親子21名が参加しました。最初に、毎回講師をお願いしている、北上市の窯元炭炭代表の千田淳氏による炭学講座を薪の駅の作業小屋にて。その後、炭窯に入ってから炭出し、炭切りなどを交代しながら行いました。お昼には、窯から出した炭を使ってのバーベキュー。午後にはバーベキューコンロで松ぼっくりなどを炭にする飾り炭づくりをした後、炭窯の中に炭材を手入れる作業も体験しました。解散後にも、夕方の火入れまで手伝う子どももあり、初めての炭焼きを楽しんで帰りました。



炭っこ倶楽部で、炭窯から出した炭を切る親子。

薪づくり倶楽部&森の笠地蔵プロジェクト 6/5(日) 7/3(日)

6月の薪づくり倶楽部は10名が参加し薪づくりを行った他、森の笠地蔵プロジェクトとして、青笹町の高齢者宅で、小屋に積んでいた木を玉切りして薪割りをしてきました。7月は朝から快晴で暑い天気にも関わらず13名が参加いただき、タープテントやブルーシートで天幕を張って日影をつくっての薪づくりとなりました。秋からは、森の笠地蔵プロジェクトも本格化します。薪の入手に困っている高齢者の情報がありましたら、事務局までご一報下さいませ。



6月の薪づくり倶楽部。間伐材を薪にしています。

主な活動の予定（8月～9月）

月日	タイトル	内容	活動場所
8/1(月)	遠野市井戸端会議(代表千葉参加)	ゴミ減量化について	市役所会議室
8/4(木)	森フェス会議(反省会)	森フェスを終えて他	コモンズスペース
8/5(金)	夏のエコキャンプ打合せ	エコキャンプ内容について	照井菜々宅
8/6(土)	森楽倶楽部	夏の森の自然観察	又一の滝他
8/7(日)	薪づくり倶楽部	薪づくり	薪の駅他
8/8(月)~11(木)	夏のエコキャンプ2022in遠野	キャンプ、川下り、他	張山環境保全林
8/20(土)	森のようちえん「どんぐりのぼうし」	森のおさんぽ、畑の収穫他	オッホーの森
8/21(日)	山仕事はじめの一步(入門)講座	草刈り機械、間伐実習	松崎実習林他
8/27(土)	間伐倶楽部	間伐・集材体験	松崎実習林
8/27(土)	「すっぴん土曜日」放送(代表千葉)	エコネットの活動紹介予定	IBCラジオ(9時30分頃)
8/28(日)	森業倶楽部	間伐材の木工、刃物の研ぎ方	松崎実習林、薪の駅
9/3(土)	森のようちえん「どんぐりのぼうし」	森のおさんぽ、畑の収穫他	オッホーの森
9/3(土)	「すっぴん土曜日」放送(代表千葉)	エコネットの活動紹介予定	IBCラジオ(9時30分頃)
9/4(日)	薪づくり倶楽部/森の笠地藏P	薪づくり、薪配達他	薪の駅、高齢者宅
9/10(土)	森のデイキャンプ「おひさまのねっこ」	森探検と創作あそび	オッホーの森
9/11(日)	山仕事はじめの一步(入門)講座	間伐、滑車の使い方実習	松崎実習林他
9/24(土)	間伐倶楽部	間伐・集材体験	松崎実習林
9/25(日)	森業倶楽部	間伐材の木工	薪の駅他

【編集後記】

雨の降り方が、これまでとはまるで違う。降れば、バケツをひっくり返した様なドシャ降り。各地で豪雨災害が頻発。私たちの住む遠野とて、一歩間違えば大災害に陥る危険性がある。

ヨーロッパでは旱魃により各地の河川が干上がっているとの報道も繰り返されている。国内でも、最高気温が40度という記録が出始めている。地球温暖化は、私たちの暮らしをじわじわと直撃し始めている。

子ども達の未来のために、今、私たちに何ができるかを、より深く真剣に取り組む必要がある。残された時間は、もうそんなに多くないようだ。(千葉)

発行:NPO法人遠野エコネット
令和4年8月18日発行
岩手県遠野市附馬牛町上附馬牛19-530
Tel&Fax 0198-64-2250
E-Mail:pahaya@tonotv.com



森フェス終了後スタッフの集合写真を撮りました。

森フェスを終えて・・・

夢の様な2日間が終わった。森の中にステージが出来て、音楽が流れ、ヨガを楽しむ人、お話しを食い入る様に聞く人。ツリークライミングで木に登る人、子ども達の笑い声が響き渡る。マルシェの料理や飲み物をい

ただきながら、思い思いに森を楽しむ人達の姿を見ていると、この森フェスの目的としていた「森に市民を呼び込む」は、かなえられたのかと思う。森フェスでのもう一つの収穫が、多様なジャンルの人達が出会い、お互いの活動に触れ、交流できたことである。この出会いから、新たな動きも出て来ている。

先日、中心スタッフで反省会を行った。改善すべき点も多くある。「来年も開催を」という声もあり、具体的な意見も出て来た。これから、スタッフ等へアンケートをとり、今後への参考にすることになった。

10月16日(日)に、森フェス会場の森へ集まり、今後の森フェスをどうしていくかを、焚き火を囲みながら語り合う場を持つことになった。興味ある方は事務局までお問い合わせ下さい。